

令和6年度指定管理者モニタリング評価調書

施設基本情報

施設名称	北広島市シルバー活動センター	所管部課	保健福祉部高齢者支援課
指定管理者名	公益社団法人北広島市シルバー人材センター		
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日		
施設設置目的	高齢者の生きがいづくり、社会参加の促進及び世代間の交流を図る。		
施設概要	施設内容：交流活動室1（70㎡）、交流活動室2（50㎡）、会議室（53㎡） 研修室1（29㎡）、研修室2（35㎡）、調理実習室（20㎡） 構造：管理棟 鉄筋コンクリート平屋建て、作業棟 鉄骨造（H19年度に増築） 延床面積：935.49㎡（管理棟765.93㎡、作業棟169.56㎡）		
指定管理者の業務 (利用料金制の適用)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理に関する業務 施設の受付及び使用許可に関する業務 施設の使用料徴収に関する業務 ※利用料金制を適用しない		

1 施設利用状況

利用区分等	前年度実績	令和6年度目標 (事業計画書)	令和6年度 利用実績	評価
利用件数	994件	—	871件	前年度より減少傾向にあるが、毎月一定の利用件数があることは評価できる。
利用者数	8,351人	—	7,908人	
(特記事項) 令和6年度月利用件数 62件～96件				

2 収支の状況

区分	目標(協定・仕様書・事業計画書)	実施状況	評価
事業収支の執行状況	収支決算額の表のとおり	収支決算額の表のとおり	適切に運営されていることは評価できる。
適正な経理	北広島市シルバー活動センター管理運営規程第13条により、経理はシルバー人材センター財務規則に基づいて行う。	経理規程を定め、指定管理者用補助簿及び証票類整理簿により、シルバー人材センターの会計とは別に処理を行っている。	適正に経理されている。
経費節減の取り組み	草刈りや剪定などの外構管理を、職員、管理人自らが実施する。また、節電計画を作成し電気使用量の抑制に努め節電対策を行う。	剪定を含め、外構の管理を事業計画のとおり実施し、外部委託費を節減した。また節電計画に基づき、電気使用量を節減した。	日常業務を職員で対応するなど経費の節減に積極的に取り組んでいることは評価できる。

収支決算額（単位：円）

区分		前年度 決算	令和6年度 事業計画書	令和6年度 決算
収入 A	指定管理料	10,853,900	12,318,000	12,566,200
支出 B	人件費	4,530,754	4,860,000	4,882,112
	事務費	496,542	535,000	1,146,304
	管理費	5,734,604	6,923,000	6,325,584
	その他	92,000	0	212,200
	合計	10,853,900	12,318,000	12,566,200
A - B		0	0	0
(特記事項)				

3 事業実施状況

区分	目標(協定・仕様書・事業計画書)	実施状況	評価
市指定事業	なし	なし	講習会によっては、目標の参加人数等が下回ることもあったが、今後もシルバーの技術を活かした自主事業の実施に期待する。
自主事業	①正月リース講習会 1日間 15名 ②木工講習会 2日間 20名 ③包丁研ぎ講習会 1日間 20名 ④自動販売機の設置 1台	①1日間 30名 ②2日間 16名 ③1日間 14名 ④自動販売機の設置 1台	

4 施設の維持管理

区分	目標(協定・仕様書・事業計画書)	実施状況	評価
施設・設備の保守点検	定期的に施設・設備点検を実施する。	点検の結果、必要な修繕が行われ、適切な維持管理が行われた。	施設の維持管理は、計画どおり実施されており、建物・設備を維持することができた。 また、外構管理を職員、管理人により実施していることなどにより、早急な点検や修繕等に対応することができ、施設の利用には支障が出ず、維持管理にかかる取り組みは評価できる。
清掃業務	日常清掃、定期清掃（ワックス掛け年2回、ガラス清掃年1回）を実施する。	日常清掃は清掃員の配置により、定期清掃は業者委託により計画どおり実施し、清潔な環境を保つことができた。	
消防設備保守点検業務	法令に基づき実施する。	業者委託により計画どおり実施し、設備の適正な管理を行った。	
除雪業務	駐車場の除排雪を委託により実施（除雪15回、排雪2回）する。除雪機械の入れない箇所は職員、管理人が実施する。	除雪は18回、排雪は2回行われ、除雪回数は計画を上回ったが、適切な維持管理が行われた。	
警備業務	日中は職員、管理人による巡回、夜間は委託により機械警備を実施する。	計画どおり実施し、建物などの異常もなかった。	
外構管理	植栽、樹木等の維持管理等を実施する。	職員、管理人により計画どおり実施（除草：年3回、草取り：随時、冬囲い・冬囲い撤去：各年1回、花壇植込み：年2回、樹木剪定：年2回、玄関・裏口の除雪：随時）し、美化に努めた。	
保険の加入	総合賠償責任保険の加入。	計画どおり加入した。	

5 施設の運営

区分	目標(協定・仕様書・事業計画書)	実施状況	評価
利用者対応 (公平性の確保等)	条例等に基づく適正、公平な運営	使用許可、減免等は条例に基づき適正に行われた。	施設管理人講習会を実施し、施設管理人の役割、接客接遇、電話対応、緊急時避難誘導方法等の確認を行うとともに、避難訓練を実施する等、利用者の安全、サービス向上に努めていることは評価できる。
意見、苦情等に対する対応	利用者アンケートの実施、意見箱の設置	利用者アンケートを実施（回収151件）したが、特段の意見要望はなかった。	
利用拡大の取り組み	各種講習会の開催、地域住民との交流、地域活動への参加	ロビーを活用した秋野菜販売及びミニコンサートを実施し、地域との交流を行った。	
職員体制	施設管理6人、日常清掃2人体制のローテーション。常時各1名配置	事業計画書のとおり配置した。	

職員の指導・育成	施設管理人講習会を実施	事業計画書のとおり実施した。
個人情報の保護	個人情報の保護に関する要綱	個人情報の保護に関する要綱に基づき、施設の管理業務を通じて取り扱う個人情報の適正な管理について職員に徹底した。
事故・災害発生時の対応	緊急時対応マニュアル、消防計画	消防避難訓練を実施した。
その他	—	令和3年度より引き続き自動消毒器、デジタル体温測定器設置等を行った。また、各室の利用後に除菌スプレーを用いて清掃を行った。

6 指定管理者の自己評価

区 分		自己評価
1	施設利用状況	利用者は、令和5年度8,351人、令和6年度は7,908人で前年度より443人減少した。また、件数は令和5年度994件、令和6年度871件で123件減少した。
2	収支の状況	・管理費については、光熱水費、燃料費は高騰の影響を受けている状況ではあるが、節電等により電気使用量は前年度より抑えることができた。施設管理に伴う保守点検委託等については、除排雪費用が、燃料費の高騰や人件費の値上げ等により、前年度より支出が多くなった。その他はほぼ同額で、管理費全体の支出は、前年度比10.3%の増となった。
3	事業実施状況	・一般市民を対象とした講習会を実施した。 ・シルバー活動センターロビーを利用して、秋野菜販売や中庭でのミニコンサートを開催し、地域住民との交流を行った。 ・北広島市役所、北広島駅及び広島公園周辺のごみ拾いを10月に実施した。 ・敷地外へ落ち葉が広がるため、周辺住民に迷惑がかからないよう、11月には会員により落ち葉集めを行った。
4	施設の維持管理	・設備等の日常点検及び館内の巡回を実施し、早急な修繕対応等により施設の利用に支障はなかった。 ・排雪作業を年2回実施し、利用者駐車場の確保に努めた。 ※修繕実績 研修室の扉や床の補修、カラオケ配線の修繕等を会員により行った。
5	施設の運営	・施設管理人講習会を実施し、施設管理人の役割、接客接遇、電話対応、緊急時避難誘導方法等の確認を行った。 ・消防法に定められた避難訓練を実施し、災害時の対応策を確認した。 ・自動消毒器、デジタル体温測定器等、感染症対策を継続した。 ・各室を利用毎に、除菌スプレーを用いて清掃を実施した。
6	利用者満足度向上に向けた取組	・施設外構に花を植え付けして美化に努めた。 ・玄関、窓口等の案内掲示板、表示ポスター、パンフレット等の配置方法を工夫して利用者が確認しやすいレイアウトとした。 ・所有しているショベルローダーにより、除雪車が入らない降雪時にも、細やかな対応ができた。

7 総合評価

【当該年度の評価】

利用状況については、令和5年度に比べ利用者数が減少傾向にあるが、引き続き、多くの方に利用していただく施設となっている。

光熱水費等は、昨今の価格高騰の影響を受けつつも節電等により使用量を抑えることで、支出を抑えていることを評価する。

支出の決算は前年度と比較し微増しているが、概ね計画どおりであり、事業全体の収支で均衡を図ることができたことを評価する。

事業については、講習会によっては目標の参加人数等が下回ることもあったが、シルバー活動センターロビーを利用した秋野菜販売や中庭でのミニコンサートを実施する等、地域との交流に努めており評価する。

運営については、管理人等の接客対応の研修などにより、利用者からも問題となるような苦情や意見はなく、適正に運営されている。

全体として、管理運営は良好であると認められる。